

平成25年慶 当初予算成立

問い合わせ
企画財政課 ☎(59)2-1-2-1

★市民自治の促進

地域活動の拠点である集会所の整備や、市民活動団体が主体となり地域の課題解決のために提案・実施する事業への助成といった市民主体のまちづくりに取り組みます。

★施設の長寿命化 対策

橋については、長寿命化修繕計画に基づき健全度の低い市道橋2橋の修繕または更新を検討するため、点検調査を行います。また、公園、市営住宅についてもそれぞれの計画に基づき長寿命化対策を行います。

★健康保持に向け ての取り組み

健康保持に向けて、健康増進計画及び食育推進計画を策定します。健康で自立した生活ができる「健康寿命」を延ばすこと、食に関する知識、正しい食生活を推進することを目指します。

わがまちプラン（第五次大竹市総合計画）では、「住みたまち」をテーマとして、10年後の大竹市が笑顔・元気かがよく大竹になるよう、6つの基本目標を定めています。

○大竹を愛する人づくり
○生活基盤が整ったまち
○安全なまち
○安心でかるまち
○心にゆとりを感じるまち
○行政・社会の仕組みづくり

この計画に基づき、一步一歩進んでいくことが市民の皆さんのが考える「よいまち」の実現につながると考えています。

平成25年度は、厳しい財政状況の中、予算規模は縮小しましたが、その中でも皆さんが生涯幸せに生活できるよう、

安心・安全のための取り組みを進めます。また健康保持に向けた予防、施設の長寿化対策、市民自治の促進など事業に、4月1日から一部を変更した新しい体制で効率的・効果的に取り組みます。

地区造成事業については、小方小学校・小方中学校や給食センターが竣工し、民間による宅地開発も行われています。4月からは小方学園も開校し、市内全小中学校への給食の提供が始まっています。「大竹を愛する人づくり」にむけての環境整備は一段落しましたが、引き続き教育環境の充実に取り組みます。また、幅広い世代の方が行きたくなるような整備を目指している晴海臨海公園に、シンボルにもなる野球場を整備するなど、まちの魅力増進につながる施策も実施します。

ついては、国や県からの補助金や駐留軍等再編交付金をはじめとする財源を有効に活用することとしており、計画的に事業を進めることで財政負担の軽減を図っています。

算の概要
一般会計は前年度当初予算と比べ5・1%減となっています。

平成 25 年度会計別予算

企業会計

名 称	区 分	予算額	前年度	対前年度比 (%)
水道事業会計	収益的	収入 5 億 1,877 万円	5 億 1,945 万円	▲ 0.1
		支出 5 億 1,772 万円	5 億 1,337 万円	0.8
	資本的	収入 6,252 万円	7,159 万円	▲12.7
		支出 1 億 6,739 万円	1 億 8,630 万円	▲10.2
工業用水道事業会計	収益的	収入 4 億 9,287 万円	5 億 7,763 万円	▲14.7
		支出 5 億 1,807 万円	5 億 2,722 万円	▲ 1.7
	資本的	収入 1 億 9,252 万円	2 億 2,452 万円	▲14.3
		支出 4 億 3,728 万円	4 億 6,115 万円	▲ 5.2
公共下水道事業会計	収益的	収入 7 億 7,260 万円	7 億 7,768 万円	▲ 0.7
		支出 7 億 6,685 万円	7 億 7,261 万円	▲ 0.7
	資本的	収入 4 億 3,200 万円	5 億 9,676 万円	▲27.6
		支出 7 億 1,210 万円	8 億 8,553 万円	▲19.6

歲入

項目	内 容	平成 25 年度 ()は前年度	前年度比 (%)
歳 入		136 億 6,931 万円 (144 億 19 万円)	▲ 5.1
自 主 財 源	市 税	市民税や固定資産税など	54 億 4,035 万円 (54 億 4,974 万円) ▲ 0.2
	分担金および負担金	保育料、養護老人ホーム入所者負担金など	2 億 3,364 万円 (2 億 2,151 万円) 5.5
	使用料および手数料	市営住宅使用料、ごみ・し尿処理使用料、各施設の使用料など	3 億 1,175 万円 (2 億 5,050 万円) 24.5
	財 産 収 入	土地売払収入、寄付金など	1 億 2,376 万円 (1 億 5,581 万円) ▲20.6
	繰 入 金	財政調整基金繰入金、企業会計退職手当組合負担金繰入金など	8 億 8,120 万円 (10 億 969 万円) ▲12.7
	諸収入など	他の収入科目に含まれない収入(貸付金元金収入など)	5 億 4,720 万円 (5 億 2,374 万円) 4.5
依 存 財 源	地方譲与税など	国や県が徴収した税の一部を一定割合で交付されるお金	4 億 776 万円 (4 億 4,127 万円) ▲ 7.6
	地方交付税	市の財政力などに応じて国から交付されたお金	14 億 4,765 万円 (15 億 2,700 万円) ▲ 5.2
	国庫支出金	特定の目的のために国から交付されるお金	17 億 5,831 万円 (20 億 1,266 万円) ▲12.6
	県 支 出 金	特定の目的のために県から交付されるお金	6 億 8,538 万円 (7 億 2,936 万円) ▲ 6.0
	市 債	大きな事業を行うために国や金融機関から借り入れたお金	18 億 3,231 万円 (20 億 7,891 万円) ▲11.9

一般会計 136 億 6,931 万円

※災害復旧費は名目のみ予算計上しています。

一般会計・特別会計

名 称	予算総額	前年度	対前年度比 (%)
一般会計	136 億 6,931 万円	144 億 19 万円	▲ 5.1
特別会計 計	76 億 7,378 万円	73 億 3,272 万円	4.7
国民健康保険	37 億 529 万円	34 億 5,374 万円	7.3
漁業集落排水	3,235 万円	2,907 万円	11.3
農業集落排水	4,397 万円	4,217 万円	4.3
港湾及び漁港施設管理受託	6,076 万円	5,577 万円	8.9
土地造成	8 億 3,361 万円	9 億 2,469 万円	▲ 9.8
介護保険	25 億 8,525 万円	24 億 3,127 万円	6.3
後期高齢者医療	4 億 1,255 万円	3 億 9,601 万円	4.2
合 计	213 億 4,309 万円	217 億 3,291 万円	▲ 1.8

平成25年度主要事業

(新規・拡充分・その他主なもの)

1 大竹を愛する人づくり



大竹を愛する人づくり

○市制60周年記念事業(新規)

300万円

市制施行60周年となる平成26年9月1日に向けて市民と行政が協働して考え、実施する事業を展開します。わがまちプランの重点取組方針のうち、特に「市民主体のまちづくりの推進」・「生涯元気な心と体づくり」の方向性を強く押し進め、「笑顔・元気がやく大竹」の実現に資する事業を実施します。

○玖波小学校施設整備事業(新規)

1,270万円

児童と教職員の安全と適切な教育環境を確保するため、玖波小学校の校舎の耐力度調査、地質調査を実施し、基本構想を策定します。

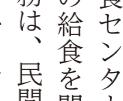
○学校給食運営事業(拡充)

7,253万円

給食センター

児童と教職員の安全と適切な教育環境を確保するため、玖波小学校の校舎の耐力度調査、地質調査を実施し、基本構想を策定します。

2 生活基盤が整つたまちづくり



生活基盤が整つたまちづくり

○養殖漁業技術開発支援事業(新規)

200万円

阿多田地区の養殖業を支援するため、流通・養殖技術・ブランドの確立について研究する費用を補助するものです。阿多田島のハマチのブランド化を研究していきます。

○橋りょう長寿命化対策事業(新規)

770万円

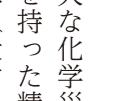
長寿命化修繕計画に基づき、健全度の低い市道橋2橋について、修繕または更新を検討するために詳細な点検調査を行います。

○晴海臨海公園整備事業(新規)

5億5,132万円

隣接する商業地区と一緒にとなって、子どもから高齢者まで多様な人々が訪れ、スポーツやレクリエーションなどで憩い楽しめる公園の整備を行います。今年度は野球場・テニスコート・管理棟を整備します。

3 安全なまちづくり



安全なまちづくり

○化学機動隊整備事業(新規)

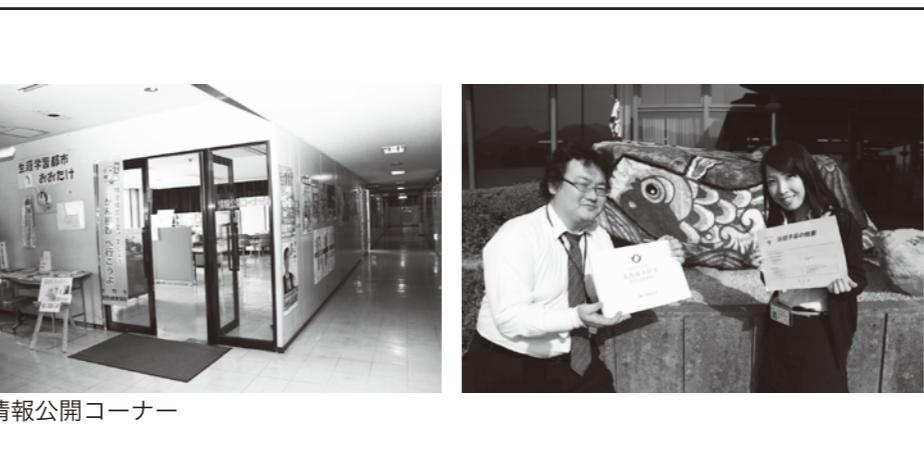
106万円

重大な化学災害に対応する、専門知識を持った精鋭部隊として「化学機動隊(大竹ハズマット)」を立ち上げ、万が一重大な災害が発生した場合に市民の安全を確保し、安心して暮らせるまちの構築を目指します。



予算書を販売しています

(消費税込み1,000円)
予算書(A4版304ページ)は、1,000円、当初予算の概要是無料で、市役所企画財政課、各支所で販売、配布しています。
また、市立図書館や情報公開コーナー(市役所1階)、市のホームページでもご覧いただけます。



4 安心できるまちづくり



安心できるまちづくり

○福祉避難所運営事業(新規)

21万円

災害が発生した場合などに高齢者や障害者等、一般的の避難所では避難

生活が困難な方が安心して避難できる介助機能の整った福祉避難所(ゆうあいホーム)を開設します。

○障害者(児)福祉施設開設等補助事業(新規)

600万円

灾害が発生した場合などに高齢者や障害者等、一般的の避難所では避難生活が困難な方が安心して避難できる介助機能の整った福祉避難所(ゆうあいホーム)を開設します。

○健康増進計画及び食育推進計画策定事業(新規)

486万円

健康で自立した生活ができる「健康寿命」を延ばすため、予防を重視し、様々な観点から健康をとらえ、新たな健康増進計画を策定します。

5 心にゆとりを感じるまちづくり



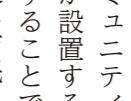
心にゆとりを感じるまちづくり

○アゼリアホール改修事業(新規)

1,420万円

大竹会館講堂(アゼリアホール)の正面階段に手すりを設置し、多目的トイレに改修するなど、バリアフリー化・ユニバーサルデザイン化を

6 組みづくり



組みづくり

○市民活動支援事業(拡充)

85万円

コミニティ活動の拠点である自治会が設置する地区集会所の整備を支援することで、コミニティ活動を促進し市民自治の振興を図ります。

○地区集会所整備事業

557万円

市民活動団体が地域の課題解決のため自ら提案・実施する事業を公募し、助成を行うことにより、市民活動の自主性の向上を図ります。

7 住みたい、住んでよかつたと感じるまちづくり



住みたい、住んでよかつたと感じるまちづくり

○広島県緊急雇用対策基金事業(新規)

2,180万円

失業者に対する短期の雇用・就業

機会の創出・提供を図ることを目的として、市民健康づくり、ごみ減量、地域の魅力発見・発信、協働のまちづくり、食育推進、マロンの里活性化に関する事業を実施します。

○マロンの里

設を含む)する場合は、原材料費を補助します。

※ 事業費は全て1万円未満を四捨五入しています。



用語解説

【一般会計・特別会計】

地方公共団体の行政運営上基本的な分野を行う会計を「一般会計」といい、特定の収入をもって特定の事業を行う会計を「特別会計」という。

【歳入・歳出】

地方公共団体が、その仕事を行うために必要な経費を貯うものが収入で、その団体の会計年度における全ての収入を歳入といい、全ての支出を歳出という。

【自主財源・依存財源】

市が自主的に調達するお金かどうかによって歳入を区分したもの。市税や保育料、市営住宅使用料や施設の使用料などが自主財源となる。また、国・県支出金や地方交付税など、国や県から市に入ってくるお金は依存財源となる。市債も依存財源に含まれる。

【駐留軍等再編交付金】

在日米軍の再編等により負担の増える市町村に対して交付される交付金。大竹市の場合は、平成19年度から33年度までの15年間で約40億円が交付予定。平成25年度は2億7,734万円が交付される見込み。